

令和8年度 岩手県冬季選手権水泳競技大会

1 大会情報

- (1) 主催 (一社)岩手県水泳連盟
- (2) 共催 盛岡市
- (3) 後援 岩手県 岩手県教育委員会 (公財)岩手県体育協会
岩手県高等学校体育連盟 岩手県中学校体育連盟 盛岡市教育委員会
(公財)盛岡市スポーツ協会
- (4) 主管 (一社)岩手県水泳連盟 (特非)盛岡市水泳協会
- (5) 期日 令和9年2月6日(土)・7日(日)
- (6) 会場 盛岡市立総合プール〔25m×予選8レーン/決勝8レーン〕
住所：盛岡市本宮5-3-1

2 競技方法

- (1) 競技は、2026年度(公財)日本水泳連盟競技規則により行う。
- (2) 競技は、種目別、男女別、クラス別に行う。
- (3) リレー・メドレーリレー・背泳ぎを除く予選競技はオーバーザトップ方式で行う。競技が終わった選手は横退水をすること。
- (4) 予選、決勝は8レーンを使用する。
- (5) 女子800m自由形、男子1500m自由形、リレー競技についてはタイムレース決勝とし、それ以外の種目は予選・決勝を行う。決勝は予選の結果上位8名が出場できる。なお特別な理由がない限り棄権は許されない。また、棄権者が出た場合は予選9位以下の次点選手を最大2名まで補欠選出し、決勝へ出場権を与える。
- (6) 決勝進出において、同記録で複数の選手が並んだ場合はスイムオフを行う。また、競技の実施時間は該当選手双方と協議のうえ決定する。
- (7) 200m以上の競技で本大会標準記録から著しく遅れた選手は、競技を途中で中止させることがある。

3 予選班組・年齢区分

- (1) 個人種目は「学童」「無差別」とする。
- (2) リレー種目は「学童/クラスコード01」「無差別/クラスコード02」とする。なお男女混合チームは認めない。また学童の選手が無差別クラスのリレー競技にメンバーとして出場することができる。
- (3) エントリータイムによる混合分け方式とする。

4 競技種目と標準記録

(1) 無差別クラス

自由形	50m	100m	200m	400m	女子 800m	男子 1500m
背泳ぎ	50m	100m	200m			
平泳ぎ	50m	100m	200m			
バタフライ	50m	100m	200m			
個人メドレー	200m	400m				
リレー	4×50m	4×100m	4×200m			
メドレーリレー	4×50m	4×100m				

(2) 学童クラス

自由形	50m	100m
背泳ぎ	50m	100m
平泳ぎ	50m	100m
バタフライ	50m	100m
個人メドレー	200m	
リレー	4×50m	
メドレーリレー	4×50m	

[標準記録 無差別の部]

種目	距離	男子	女子	種目	距離	男子	女子
自由形	50	32.29	35.89	バタフライ	50	34.49	38.29
	100	01:04.54	01:11.61		100	01:08.70	01:17.36
	200	02:16.04	02:29.67		200	02:27.09	02:43.52
	400	04:48.56	05:13.62	個人メドレー	200	02:31.31	02:47.56
	800		10:24.27		400	05:21.81	05:52.47
		1500	18:28.01		リレー	200	01:57.56
背泳ぎ	50	35.69	39.69	400		04:06.96	04:28.62
	100	01:10.34	01:17.99	800	09:00.00	09:30.00	
	200	02:28.49	02:42.81	メドレーリレー	200	02:10.01	02:20.62
平泳ぎ	50	39.79	44.79		400	04:28.62	04:45.47
	100	01:18.77	01:28.45				
	200	02:43.57	03:02.59				

〔標準記録 学童の部〕

種目	距離	男子	女子	種目	距離	男子	女子
自由形	50	37.69	39.79	バタフライ	50	40.19	42.49
	100	01:22.39	01:26.39		100	01:27.49	01:33.29
背泳ぎ	50	41.59	44.09	個人メドレー	200	02:55.41	03:03.15
	100	01:29.59	01:33.89	リレー	200	02:16.72	02:20.52
平泳ぎ	50	46.49	49.69	メドレーリレー	200	02:30.99	02:35.31
	100	01:40.49	01:46.49				

5 競技順

〔1日目〕

(1) 200m個人メドレー	予選	(13) 200m個人メドレー	決勝
(2) 200m背泳ぎ	予選	(14) 200m背泳ぎ	決勝
(3) 50mバタフライ	予選	(15) 50mバタフライ	決勝
(4) 200m自由形	予選	(16) 200m自由形	決勝
(5) 50m平泳ぎ	予選	(17) 50m平泳ぎ	決勝
(6) 200mバタフライ	予選	(18) 200mバタフライ	決勝
(7) 50m背泳ぎ	予選	(19) 50m背泳ぎ	予選
(8) 200m平泳ぎ	予選	(20) 200m平泳ぎ	予選
(9) 50m自由形	予選	(21) 50m自由形	予選
(10) 400m自由形	予選	(22) 400m自由形	予選
(11) 200mメドレーリレー	タイム決勝	(23) 200mリレー	タイム決勝
(12) 400mリレー	タイム決勝	(24) 800mリレー	タイム決勝

〔2日目〕

(1) 400m個人メドレー	予選	(9) 400m個人メドレー	決勝
(2) 100m自由形	予選	(10) 100m自由形	決勝
(3) 100m平泳ぎ	予選	(11) 100m平泳ぎ	決勝
(4) 100mバタフライ	予選	(12) 100mバタフライ	決勝
(5) 100m背泳ぎ	予選	(13) 100m背泳ぎ	決勝
(6) 200mリレー	タイム決勝	(14) 200mメドレーリレー	タイム決勝
(7) 800m自由形	タイム決勝	(15) 400mメドレーリレー	タイム決勝
(8) 1500m自由形	タイム決勝		

6 申込規定

(1) 資格

- ① 選手が所属する団体(チーム)は、2026年度(公財)日本水泳連盟競技者登録完了団体(チーム)であること。
- ② 選手は、令和8年度(公財)日本水泳連盟競技者登録完了者であること。
- ③ 別表の参加標準記録以内で完泳可能な種目に限り申し込みができる。なお、明らかな実力不足で申込規程違反と認められる場合は、当連盟臨時理事会に諮り、当該団体の大会出場停止等の罰則措置を科す場合がある。

【注】 エントリータイムは短水路の記録を入力すること。

- ④ 学童の選手が200m個人種目(個人メドレーを除く)に出場する際は、無差別クラスで、且つ無差別クラスの標準記録を突破可能な選手のみ出場できる。

注) エントリーの際に該当種目のクラスコード「02」を必ずチェックすること。

- ⑤ 出場する団体(チーム)は、公認競泳競技役員資格を保有する競技役員を1名以上、帯同役員として協力すること。

※参加申込書の協力帯同役員の欄に氏名を記入すること。

- ⑥ 他県からの登録団体(チーム)の出場も認める。
- ⑦ 上記⑥に記載されている県外の登録団体及び選手であっても、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項〔本則8項第1号及び第10項第4号(参加資格及び年齢基準等)〕に定められた「ふるさと選手制度」を活用し、国体に岩手県代表選手として出場する権利を持っている者は県内選手として参加でき、決勝にも出場できる。

(2) 制限

- ① 個人種目の出場数は制限しない。
- ② 団体(チーム)から同一リレー種目への出場数に制限はしない。ただし、同一選手が複数チームに掛け持ちでの出場を禁止する。また、クラスが異なっても同様とする。

例) ア 同一選手がAチームとBチーム両方に掛け持ち出場はできない。

イ 学童選手が同じリレー種目に「学童」と「無差別」の両方には出場できない。

(3) 申込について

① 申込必要書類等

(a) 参加申込書

※岩手県水泳連盟HPよりダウンロードし、申込金領収書のコピーを添付。

(b) 競技会申込(エントリー)一覧

※Web-SWMSYSより印刷した物。

(c) 競技会申込(エントリータイム)一覧

※Web-SWMSYSより印刷した物。

(d) 競技会申込(リレー)一覧

※Web-SWMSYSより印刷した物。

(e) 申込金

個人種目1種目につき1,500円

リレー種目1チームにつき3,000円

大会参加費1人500円

※振り込んだ後に受領証のコピーを上記(a)に貼付

② 申込先

〒020-0866

岩手県盛岡市本宮5丁目1-11熊さんビル3階

岩手県水泳連盟「令和8年度県冬季選手権事務局」宛

③ 振込先

振込銀行：岩手銀行 城西支店(108)

口座番号：2053968

名義人：一般社団法人岩手県水泳連盟 会長 小田島秀俊

※通信欄には「令和8年度県冬季選手権」と記入すること

④ 申込締切

(ア) Web-SWMSYSでのエントリー締切は、令和9年1月6日(水)とする。

(イ) 上記①申込必要書類等の(a)~(d)の締切は、令和9年1月8日(金)必着とする。

大会事務局に郵送、もしくは持参すること。

(ウ) 上記①申込書類等の(e)申込金は、岩手県水泳連盟口座に振り込むこと。

7 申込の確認・訂正・種目の変更

(1) Web-SWMSYSエントリー後に、HPでエントリー一覧を公開する。各団体(チーム)ごとにHPで確認すること。

(2) 種目の変更は認めない。

(3) エントリータイムの入力ミスにより標準記録を突破していない選手はこの訂正受付期間に必ず訂正すること。なお、訂正しない場合は当該種目への出場を認めない。また、その場合、種目代及びプログラム代の返金はしない。

- (4) 種目の追加は、Web-SWMSYS エントリー締切後は一切認めない。
- (5) 主催者側の理由で申込状況、あるいはプログラム掲載内容に相違があった場合は、申し込み状況の訂正受付期間以外でも訂正を行う。

8 表彰

- (1) 各クラス及び各種目上位 3 名にメダルと賞状を授与する。
- (2) 優秀選手賞…各年齢区分男女 1 名ずつに授与する。(学童男女、無差別男女；合計 4 名)
- (3) 佐々木猛杯…無差別クラス男女 100m 自由形の選手権獲得者に授与する。
- (4) 瀬川政雄杯…無差別クラス男女 400m 自由形の選手権獲得者に授与する。
- (5) 各種目の表彰式は行わない。また、優秀選手賞・佐々木猛杯・瀬川政雄杯の表彰は行う。詳細については 2 次要項で通知する。

9 競技会について

- (1) 選手の入場について
 - ① 開場時刻は 7 : 0 0 とする。
 - ② 先行入場は実施しない。控え場所は指定の場所にとること。
 - ③ 入り口は、1 階入り口とする。
 - ④ ウォーミングアップ時の更衣室の密を避けるため自宅より水着を着用してくること。
- (2) 保護者の入場について
 - ① 自分のお子様の応援のみとします。お子様の競技開始の 1 0 分前から入館可能となります。お子様の競技が終わりしだい退館をお願いします。複数種目の出場であっても 1 レースごとに退館してください。
 - ② 入館から競技開始までの時間の使い方について

入館	7 : 0 0
ウォーミングアップ	7 : 0 0 ~ 8 : 5 5
公式スタート練習	7 : 5 0 ~ 8 : 1 0
役員打ち合わせ	8 : 3 0 ~ 8 : 4 5
競技開始	9 : 0 0 ~ (観覧入場 8 : 5 0 ~)

- (3) 競技について
 - ① 本大会は、2 0 2 6 年度 (公財) 日本水泳連盟競泳競技規則に則り実施する。
 - ② 背泳ぎを除く予選競技はオーバーザトップ方式で行う。競技が終わった選手は横退水をすること。
 - ③ World Aquatics (世界水泳連盟) 公認の水着を着用すること。
 - ④ 競技を棄権する場合は、棄権用紙を選手招集所に提出すること。(棄権に伴う返金を行わない。)
 - ⑤ 招集所から各レーンの導線にバケツを用意する。(※前組のレース中に自レーンで水を浴びることを禁止する)
 - ⑥ ランキング表示は、速報板でおこなう。電光掲示では、上位 1 0 位までを表示する。
 - ⑦ 背泳ぎのスタートは、バックストロークレッジを使用可とするが、調整等は選手の責任のもと実

施すること。

(4) 招集について

- ① 該当する競技のタイムテーブル時刻の10分前から開始する。
- ② 競技前に衣服を入れる袋を用意し、持ち歩くこと。なお、脱衣かごに直接入れないように徹底すること。
- ③ 招集所の場所は、あらかじめ確認しておくこと。

(5) 選手の退館について

競技が終了した選手は速やかに退館すること。

(6) コーチについて

プールサイドにコーチ席は設置しない。

10 会場内の使用方法について

(1) 更衣室の使用について

- ① 朝のウォーミングアップ前の更衣室は混雑することが予想されます。家から水着を着用し、更衣室では上着を脱ぐのみとするようにご協力をお願いします。
- ② 貴重品の管理については、所属ごとに管理するようお願いします。
- ③ 泳ぎ終わり、更衣室を出るときには、自分の荷物はすべて持って更衣室を出ること。他の選手の更衣スペースの確保に協力すること。
- ④ 更衣室内では、スマートフォン等、カメラ機能のついた機器の使用のいっさいを禁止する。使用が確認された場合は厳重に注意し、必要に応じて関係機関に連絡し、適切な対応をとる。
※状況によっては、データの内容の確認を求めることもあります。ご了承ください。

(2) 選手控え所について

指定された場所を使用すること。

- (3) プールサイドは上履きに限り使用を認める。ただし、靴底が白色・ゴム色の靴とする。なお、ロビーに行く際は必ず履き替えること。
- (4) 貴重品は持ち込まないこと。持ち込んだ場合は各自、各学校、各チームで管理すること。盗難、紛失等について大会主催者側は一切の責任を負わない。
- (5) その他、プールの使用については施設の利用規定に従うこと。

11 インフルエンザ・新型コロナ等の感染対策について

(1) 次の項目に該当する選手は、参加できない。

- ① 朝、家庭で検温し、37.5℃以上の熱がある場合。
- ② 選手が感染し、出席停止等、登校していない状態にある場合。

(2) 食事は極力避け、食事の必要がある場合は以下のことを守ること

- ① 食事中は会話をしないこと。
- ② 十分なソーシャルディスタンスを保つこと。(2m以上)
- ③ 他者と取り分けをしないこと。

- ④ ごみはすべて持ち帰ること。
- ⑤ ペットボトルなど口をつけたものは持ち帰ること。
- ⑥ マスクも捨てずに持ち帰ること。

12 その他

- (1) Y o u T u b e 配信については、原則行わない。
- (2) プログラムの販売を行わないため大会が近くなりしだい確定したプログラムを含む2次要項の配信をHPで行います。
- (3) 宿泊については、各団体（チーム）で手配すること。
- (4) 大会当日の弁当（昼食）の斡旋は行わない。
- (5) 怪我は、大会事務局側で応急処置は行うが、その後の対応は各団体（チーム）で行うこと。
※傷害保険等の加入は、大会事務局では行わない。
- (6) 応援の保護者の皆様へのお願い
 - ① 座席の占有を禁止します。物を置いての座席確保を禁止します。見つけ次第撤去します。
 - ② 選手の種目が終わり次第、速やかに席を譲るようにしてください。
 - ③ 通告、会場係、役員の指示に従うようにしてください。
 - ④ 開門前に並ぶこと、物を置いて場所を取ることを禁止します。
 - ⑤ 観客席での会話は極力お控えください。
 - ⑥ 補水目的以外の飲食を禁止します。
- (7) 新聞やテレビ等の報道機関が取材に来ることもあります。ご了承ください。
- (8) 大会の忘れ物については、大会終了後2週間は大会事務局で保管するが、それ以降は廃棄する。